

平成 26 年度第 1 回幹事会報告

平成 26 年 4 月 18 日 (金)

於：大阪警察病院

[出席者]

事務局長 (増田 徹)

幹事 (井上智奈美、川野真樹、寺澤裕子、畑 美之、
藤原純子、松井美抄枝)

[各部からの報告事項]

■事務局 (総務)

(1) 第 40 回総会について

3 月 20 日 (木) にキャンパスプラザ京都において開催された。参加者は 33 館 39 名。同時に首藤佳子氏 (元星ヶ丘厚生年金病院図書館・病図協初代事務局長) による総会記念講演「今は昔、病図協が若かった頃」が行われた。

(2) 会員異動

平成 25 年度末に、大阪市立総合医療センター、大阪府済生会中津病院、滋賀県立成人病センターより相次いで入会申込書が届き、メールでの幹事会議にて入会を承認。2014 年 4 月 1 日より会員となった。

(3) ニュースレター

2 月 27 日 (木) に No. 27、3 月 14 日 (金) に No. 28 を会員へ送信。

(4) 医図協総会への臨席について

5 月 30 日 (金) に日本科学未来館で開催される第 85 回日本医学図書館協会総会に増田が出席する。

(5) 『図書館年鑑』協会の概況原稿提出

日本図書館協会に『図書館年鑑』に掲載される当協会の概況原稿を 3 月 15 日 (土) に提出した。

(6) 文書番号

文書番号は今後も事務局総務担当が管理するが、文書番号と内容を幹事コミュニティで幹事が確認できるように、データを掲載する。

(7) KITOCat ポスター発表

東海地区医学図書館協議会より依頼があり、MIS31 での KITOCat についてのポスター発表に協力する。

■事務局 (会計)

(1) 会員数

正会員 119

賛助会員 4

購読会員 48

広告主 4

(2) 会計報告

(2014 年 3 月 1 日～2014 年 4 月 16 日)

収 入 83,079 円

(刊行物売上 24,120 円)

支 出 852,276 円

(事業費 81,419 円、管理費 770,857 円)

今年度収支 -769,197 円

繰 越 金 5,432,604 円

合 計 4,663,407 円

(3) 請求業務

新入会 3 施設に対し、入会セットと一緒に入会金と年会費の請求書送付。

33 巻購読費は 2013 年度までに 35 施設が支払い済み。後払い施設など 13 施設が残る。

5 月に会員と賛助会員宛に会費の請求を行う。

(4) 各部会計宛への連絡

予算限度額まで預金可能。必要であれば各部の会計担当者は申し出ること。

会計フォームや幹事会後との連絡は 2013 年度から変更なし。近図雲内で連絡するため、幹事カテゴリに会計コミュニティを作成。

(5) 名簿

6 月 1 日時点の名簿情報を近図雲書庫に掲載。公式コミュニティで事前に会員へ周知予定。

■研修部

(1) 第 133 回研修会

日 程：2014 年 3 月 20 日 (木)

時 間：10 時 00 分～12 時 00 分

場 所：キャンパスプラザ京都 (JR 京都駅

前) 2F 第一会議室

テーマ：事例・研究報告会

プログラム：

① 洋雑誌の電子ジャーナル化計画

大阪赤十字病院診療情報管理課

雨乞 久美 氏

② 「DynaMed」と「Medline with Full Text」
及び電子ジャーナル導入と ILL 件数の変化

京都桂病院図書室 椎木 淳美 氏

③ 病院機能評価・卒後臨床研修評価を受審して

耳原総合病院 医局事務課 江口 純子 氏

④ Kinki Webcat から KITO cat へ 一 目録サ
ポートチームからの報告一

京都第二赤十字病院図書室 川野 眞樹 氏

⑤ 近畿病院図書室協議会ホームページの改修
点と使い方について

関西労災病院図書室 寺澤 裕子 氏

参加者数：45 名

(2) 部員

椎木淳美(京都桂)、谷口裕美子(八尾)、高橋育子(姫路マ)、雨乞久美(阪日赤)

■ 会誌編集部

(1) 原稿の状況

33 巻 1 号 2 月末発行。

33 巻 2 号 初校待ち。

(2) 34 巻 1 号 2 号の特集案

医中誌 Web way (へ) (PubMe 道の医中誌 Web 版) を検討中。

編集部員は、検索問題になりそうな事例を集める。

機関リポジトリ研修会の内容をテープ起こしによる原稿化を計画中。

事例研究報告会の内容は 1 号に掲載予定。

(3) 編集部クリアファイル

入稿用のデータを松尾氏が作成中。

(4) 新部員の入部

京都医療センターの岩瀬氏が入部。

(5) 編集会議について

今回は、2014 年 5 月 11 日(日)に開催予定。

■ 目録サポートチーム

(1) WindowsXP への対応

2014 年 4 月 3 日付の文書番号 14-3 にて、“WindowsXP 搭載パソコンからの KITOcat 利用禁止に対する救済措置について”を発送した。

2014 年 4 月 9 日、近図雲書庫“所蔵目録”にナレッジワイヤから提供の救済措置のデータファイル(冊子体書誌マスタ〈和〉、冊子体書誌マスタ〈洋〉、EJ 書誌マスタ、機関情報)を公開した。公開期間は 7 月 25 日まで。

(2) 新規データベースの登録

フルテキスト付データベースの新規登録を計画し、登録を希望する会員機関を公式コミュニティで募集した。新規フルテキスト付データベースは、MEDLINE with Full Text」と「CINAHL with Full Text」を予定している。

■ 統計調査部

(1) 報告書について

2014 年 3 月 20 日総会にて統計調査報告をした。提出施設のうち、回答到着が確認できなかった事例が 1 件、報告書の数字に 1 部不備があったことがわかった。

(2) 今後の予定

2014 年度は詳細調査の年にあたる。

■ ホームページ WG

(1) 作業状況

3 月 19 日 ホームページ公開

3 月 20 日 近図雲 公開

3 月 24 日 名簿用アドレスを 1 個取得

(adr@hosplib.info 寺澤)

3 月 27 日 近図雲利用マニュアル、移行設定、必ず行う操作の資料を全会員に送付

3 月末 不具合の修正を依頼

現在 不具合の有無、登録者の確認など

(2) 登録状況

4 月 16 日時点で、公式コミュニティ 32 人、会員コミュニティ 31 人が参加(28 施設)。4 月末の締め切り後に登録を催促予定。

(3) 今後の課題

会員からの問い合わせのうち、以下は将来に検討するため、今は対応しない。

- ・ 日記は全体に公開してもいいのではないかと
→ 利用者が慣れてきて要望が増えれば検討。

[協議・決定事項]

■事務局（総務）

(1) 総会報告の送付

総会で議決されたことを会員に送付する。

(2) プロジェクトチームの設置

機関リポジトリ構築に向けて、事務局内に機関リポジトリプロジェクトチームの設置とメンバーの招集を実施。

主な業務は以下のとおり。

- ① 会員施設宛の機関リポジトリ導入に関するアンケート作成と実情の把握・分析。
- ② 投稿規定・運用指針等の収集、マニュアルの作成。
- ③ 業者および使用ソフトの選定。
- ④ 近図雲を使用した会員への広報
- ⑤ 会員への研修計画の作成

藤原氏中心として活動を今年度より開始。期限は設けない。

(3) 幹事役割分担（◎部長、○会計）

事務局：◎増田徹（藍野大）

松井美抄枝（大労災）

○寺澤裕子（関労災）

研修部：◎藤原純子（音羽病）

会誌編集部：◎井上智奈美（三菱京）

統計調査部：◎増田（藍野大）

目録サポートチーム：◎川野真樹（京二赤）

ホームページWG：◎寺澤（関労災）

(4) 当協議会名刺について

対外交流もあるため、必要な場合、申請により幹事および各部の部員に対して近畿病院図書室協議会の名刺を作成、配布する。

■事務局（会計）

(1) 名簿配布について

冊子の配布は会員コミュニティにアップされたファイルを自分で印刷して利用するので不要。

(2) 本2冊配布すること

「わかりやすい医中誌 web 検索ガイド」「図解 Pubmed の使い方」について神陵文庫と丸善から見積もりをとった。

神陵文庫は冊子納品のみで、丸善は別料金だが発送を含めた見積もりがある。幹事館での発送手配の作業簡略化のため発送の請負も含めて丸善での発注でも可とする。

(3) 当協議会備品について

ノートPCなどはレンタルで常に最新モデルを使用する方法も視野に入れる。

研修会会場が貸会場ではなく病院施設の場合、病院でPCを借りることができる時もある。研修会の現状を踏まえ費用対効果を検討しPCを購入するか、レンタル契約にするかについて再度検討する。

■研修部

(1) 新任者研修会の講師依頼

新任者研修会（日程未定）にて、目録サポートチーム、ホームページWGへ講師派遣依頼あり。承認する。

(2) 抄録の事前公開

事例研究報告会の抄録を平成27年度より事前に近図雲にて公開することを提案。事前に抄録に目を通し発表の概要を知ること、より理解を深め事前に質問を考えることができる。

→承認。抄録の事前公開に伴い、抄録提出締切を従来の総会・研修会1週間前より早める。演題募集時に抄録の近図雲掲載と締切スケジュールの変更を周知する。

■会誌編集部

(1) もくじの英訳の振込先

名義の違う人への振込を希望された。振込可能だが、名義が異なることを明記した契約書のようなものを作成しておくこと。井上氏が案を作成し、幹事会にはかる。

(2) 病図協バインダー

今のところ用途がないため、製作は保留する。

(3) 会員のオブザーバー参加について

ネタの行き詰まりや視野の固定化を防ぐため、編集会議への会員の体験参加者を募集することを承認する。

■目録サポートチーム

(1) 平成 26 年度部員承認

部員：春日井（名記念）、高須賀（松山市）、高橋（島根）、松本（日本バ）

(2) 合同研修・勉強会の開催

研修部の協力のもと、中国四国九州医学図書室ネットワークとの合同研修・勉強会を行いたい。

〈開催案〉

開催場所：岡山国際交流センター

開催時期：2014 年 6 月 21 日

開催理由：他図書室ネットワークも KITOcat を利用できるようになったことから、2013 年より利用している中国四国九州医学図書室ネットワークと KITOcat 利用および ILL についての勉強・研修会を合同で開催したい。

開催方法：研修部主催（目録サポートチーム協力）、中国四国九州医学図書室ネットワークとの共同開催。

上記案については新規事業の対外交流会とし、幹事会による企画とする。ただし、午後の交流会だけでは関西圏会員の参加を促すには魅力が少ないため、午前岡山県の図書館施設見学会を研修部にて企画することを依頼する。午後は内容から判断して目録サポートチームが中心となって中国四国九州医学図書室ネットワーク担当者（松江市民病院）と企画を進める。会場費は、目録サポートチームの 2014 年度活動費からの支出とする。助成金など、予算については今後の検討課題とする。

■ホームページ WG

(1) ニュースレターの廃止

事会の議事録作成後に発信していたニュースレターのメール配信を廃止し、ニュースレターコミュニティを削除する。

ただし、公式コミュニティへの会員登録状況がほぼ全会員施設に近づいた時点で廃止する。

(2) 近図雲のデータ保管場所に使用について

データ保管場所として、コミュニティやトピックを作って使用する。

文書番号は事務局総務がファイルのアップを行う。番号の取得は今までどおり松井氏に連絡してから受けとる。

(3) 新入会セットの管理

幹事コミュニティ内にトピックを作成し、各部署で随時更新ファイルをアップする。現在の新入会セットの内容を整理した上で検討する。

(4) コミュニティを整理

会員名簿は近図雲書庫に置くため廃止する。アンケートコミュニティは各事業部がイベントで作成することにできるため廃止する。

(5) フォトレポート機能

現在はホームページ WG のアカウントのアルバムに書き込んだものが、フォトレポートとして掲載されている。フォトレポートのコメント機能は不要のため削除する。

(6) 郵送物と近図雲

公式コミュニティへの登録数から判断して、郵送物を廃止するのはまだ難しい。各事業部は、お知らせなどを郵送した後、データファイルを公式コミュニティの各部トピックに掲載する。郵送業務は昨年が続いて三菱京都病院で行う。

■統計調査部

(1) 統計調査の集計プログラムについて

八尾市立総合病院の谷口氏にて統計調査用紙のひな形を提示。次回の幹事会にて、質問・回答事項の確認も含め、検討をする。

(2) 調査結果の公開について

総会に提案後、議決を得て公開とする。